７　優先整備路線の整備効果

優先整備路線が完成した場合の整備効果を以下に示します。

（１）拠点都市の形成

- 骨格道路が形成されます。
- 拠点間の連絡が円滑になります。

（２）生活環境の向上

- 歩行者の安全性確保が期待出来ます。
- 自転車利用者の安全性確保が期待出来ます。
- 良好な景観の確保が期待出来ます。
- 公共交通の快適性向上が期待できます。

（３）広域交通ネットワークの充実

- 交通結節点へのアクセス性向上が期待出来ます。
- 円滑な交通の流れが期待できます。

（４）防災機能の強化

- 緊急輸送路の充実が期待出来ます。
- 救急医療施設のアクセス性向上が期待出来ます。

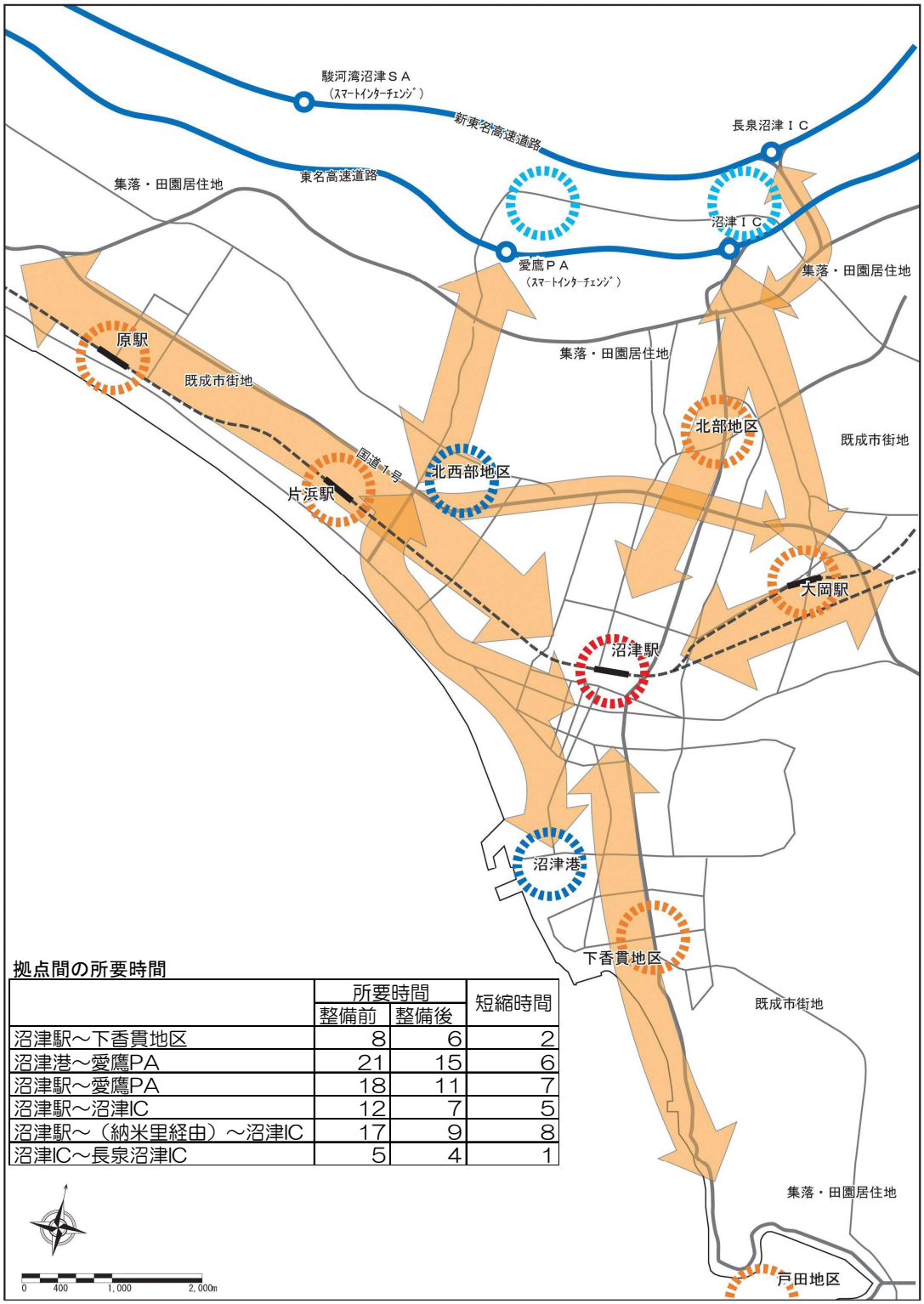
（１）拠点都市の形成

１）骨格道路の形成・拠点間の連絡

優先整備路線が完成することにより、都市内、都市間の移動の快適性・安全性が高まります。

また、例えば、沼津駅周辺と地域拠点：北部地区の旅行時間が大幅に短縮されるなど、拠点間の所要時間の短縮や拠点間の交流が促進されます。

【拠点間の移動】



拠点間の所要時間

	所要時間		短縮時間
	整備前	整備後	
沼津駅～下香貫地区	8	6	2
沼津港～愛鷹PA	21	15	6
沼津駅～愛鷹PA	18	11	7
沼津駅～沼津IC	12	7	5
沼津駅～（納米里経由）～沼津IC	17	9	8
沼津IC～長泉沼津IC	5	4	1

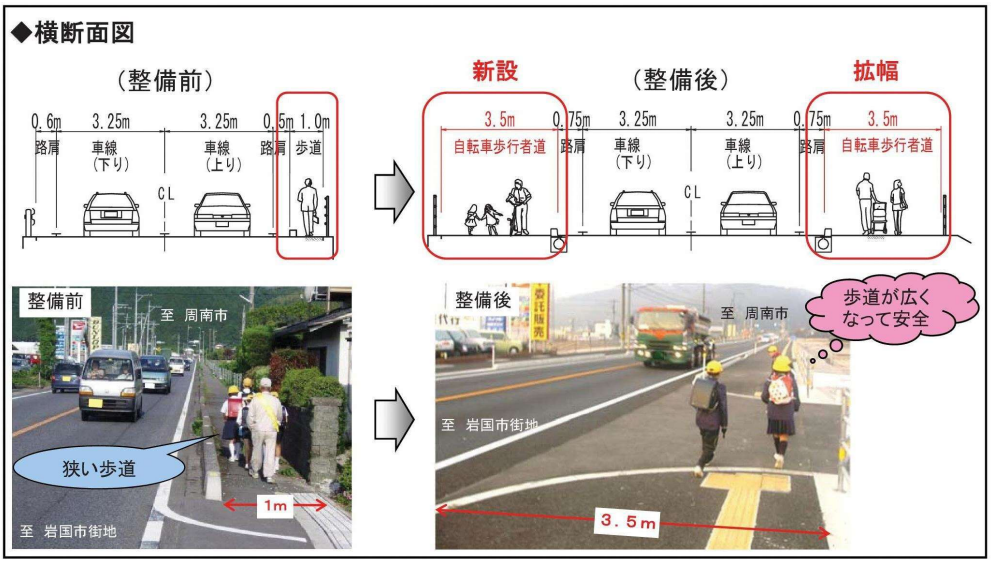
（2）生活環境の向上

1）歩行者・自転車利用者の安全性確保

優先整備路線が完成し、歩道が整備、拡幅されることにより、歩行者の安全性が大きく向上します。

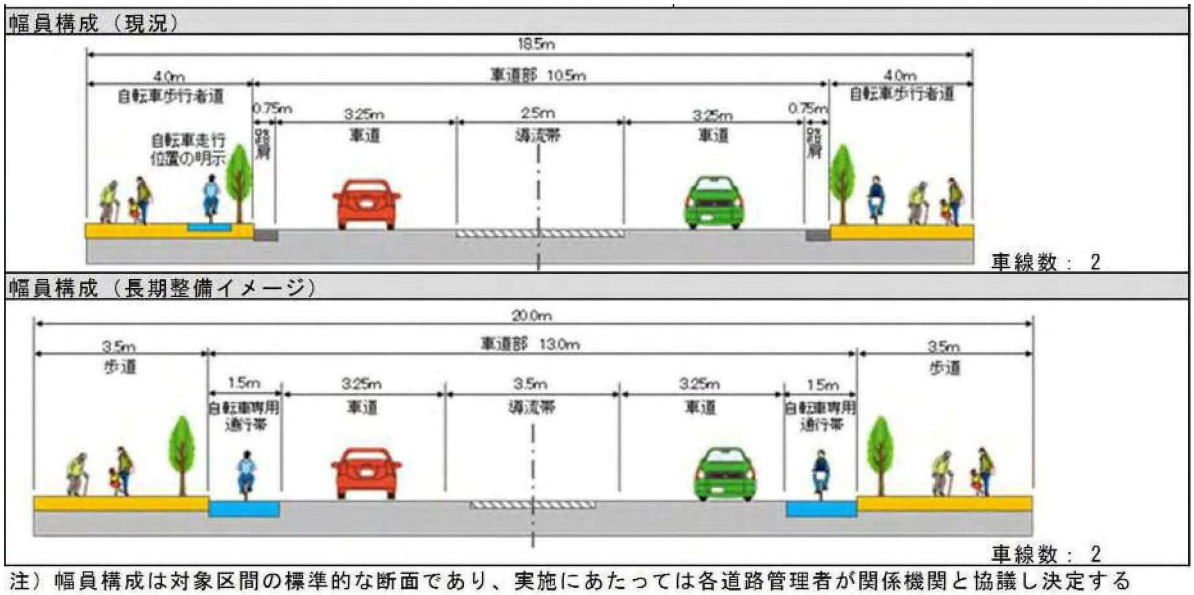
併せて、自転車の走行空間を整備することで、自転車利用者及び歩行者の安全性が大きく向上します。

【歩道整備による安全性向上イメージ】



※国土交通省

【自転車専用通行帯整備イメージ：平町岡一色線】



注）幅員構成は対象区間の標準的な断面であり、実施にあたっては各道路管理者が関係機関と協議し決定する

※沼津市自転車ネットワーク計画

３）良好な景観の確保

景観形成を図るべき地区に位置する路線の整備により、周辺と調和し、快適でうるおいのある道路景観が形成され、良好な景観が確保されます。

【整備イメージ】

■周辺施設を引き立て、地域の色調に調和した色彩が選定された例

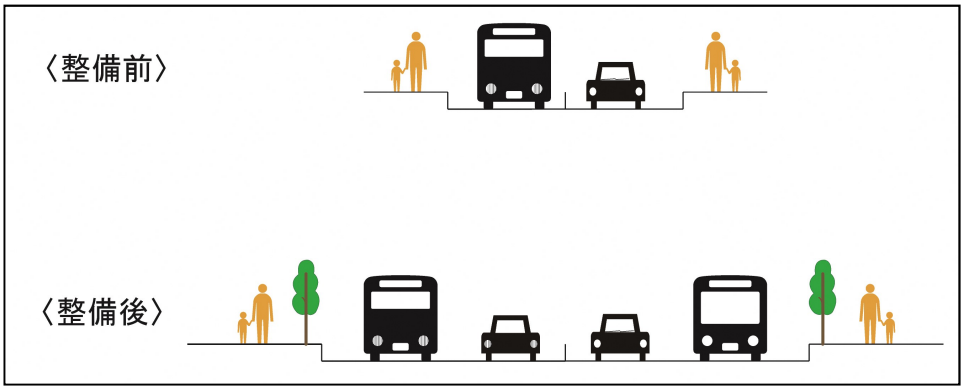
道路附属物等の色彩の調和がとれた道路景観

※国土交通省

４）公共交通の快適性向上

バス路線等の公共交通に関連する路線の整備により、快適な公共交通の走行空間が形成され、バスの旅行速度向上など公共交通の快適性が向上します。

【快適な公共交通の走行空間の形成イメージ】



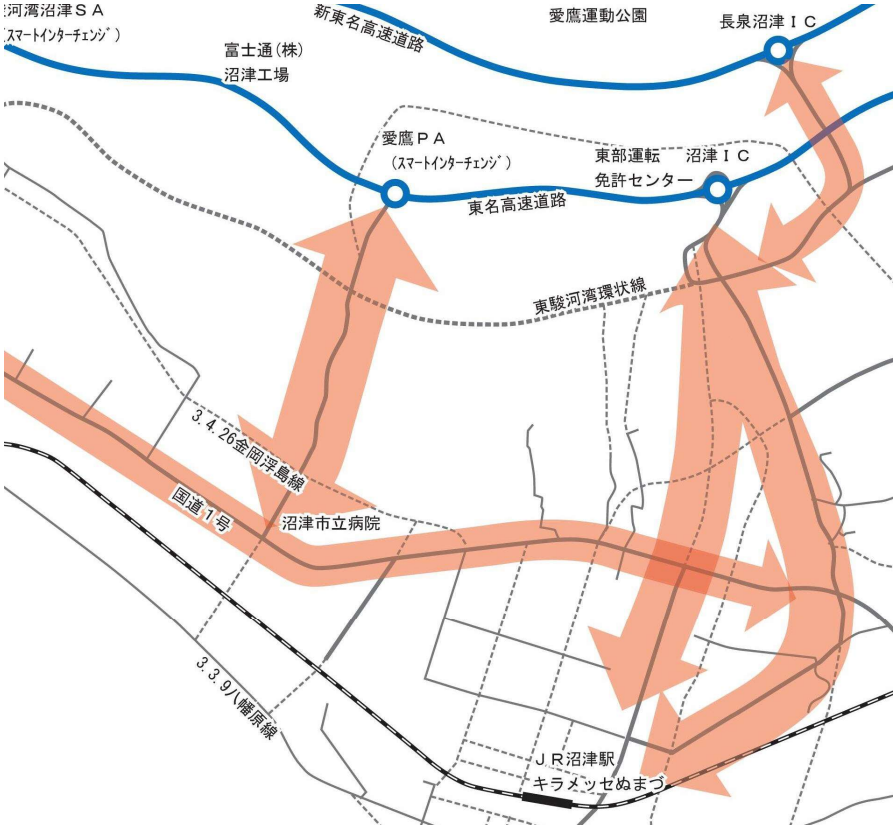
	所要時間		短縮時間
	整備前	整備後	
沼津駅～市立病院	12	9	3

（3）広域交通ネットワークの充実

1）交通結節点へのアクセス性向上

沼津駅、インターチェンジ等の交通結節点へのアクセス道路を整備することにより、例えば、沼津駅～沼津 IC までの旅行時間が大幅に短縮され、周辺地域との連携が図られます。

【交通結節点へのアクセスイメージ】



【沼津駅から交通結節点への所要時間】

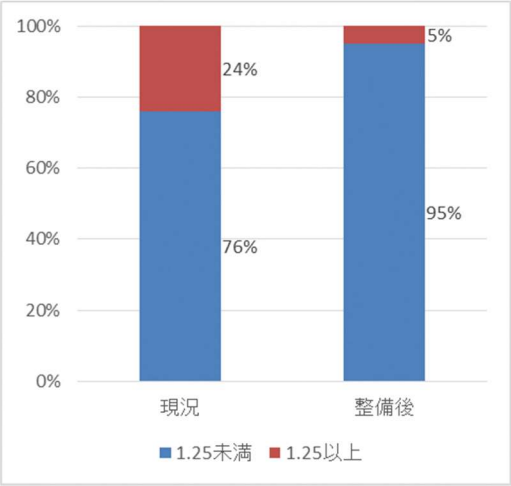
	所要時間		短縮時間
	整備前	整備後	
沼津駅～愛鷹PA	18	11	7
沼津駅～沼津IC	12	7	5
沼津駅～（納米里経由）～沼津IC	17	9	8
沼津IC～長泉沼津IC	5	4	1

2）円滑な交通の流れ

ミッシングリンクやボトルネックの解消により、交通混雑の緩和が図られることにより、混雑区間が 24%から 5%となるため、円滑な交通の流れが確保できます。

（混雑区間は、道路の交通容量に対する交通量の比である混雑度が 1.25 を上回る区間としています。混雑度が 1.25 を上回ると、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態とされております。）

【混雑度 1.25 以上の区間割合の変化】



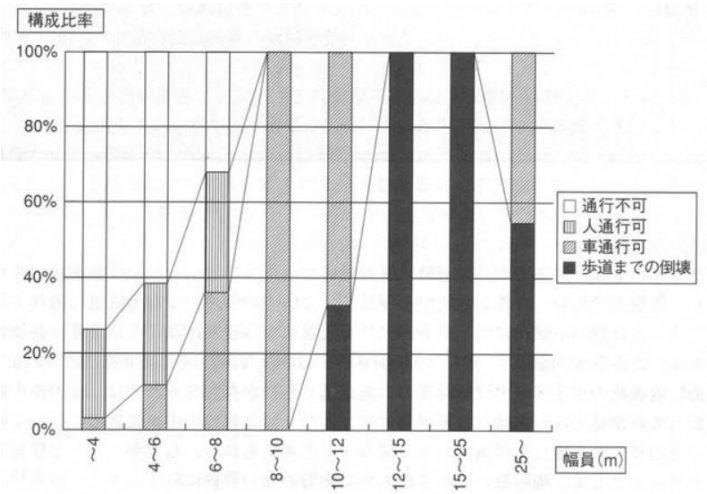
（4）防災機能の強化

1）緊急輸送路の充実

阪神・淡路大震災で幅員 8m未満の道路では、人や車の通行できない区間が発生しましたが、8m以上の道路であれば、通行が確保されました。

緊急輸送路に指定された路線の中には幅員が 8m 未満となっている区間が含まれており、火災や建物の倒壊によって閉塞されてしまう可能性があります。優先整備路線の中には緊急輸送路に指定されている路線もあり、整備が完了することで、緊急時の応急対策活動が円滑になります。

【阪神・淡路大震災における幅員と道路閉塞の関係】



※都市防災実務ハンドブック編集委員会（2005）『震災に強い都市づくり・地区まちづくりの手引き』ぎょうせい）

2）救急医療施設

救急医療施設へのアクセス道路を整備することにより、アクセス性が向上し、搬送時間が短縮されます。

【救急医療施設へのアクセス性向上の例：片浜池田線】